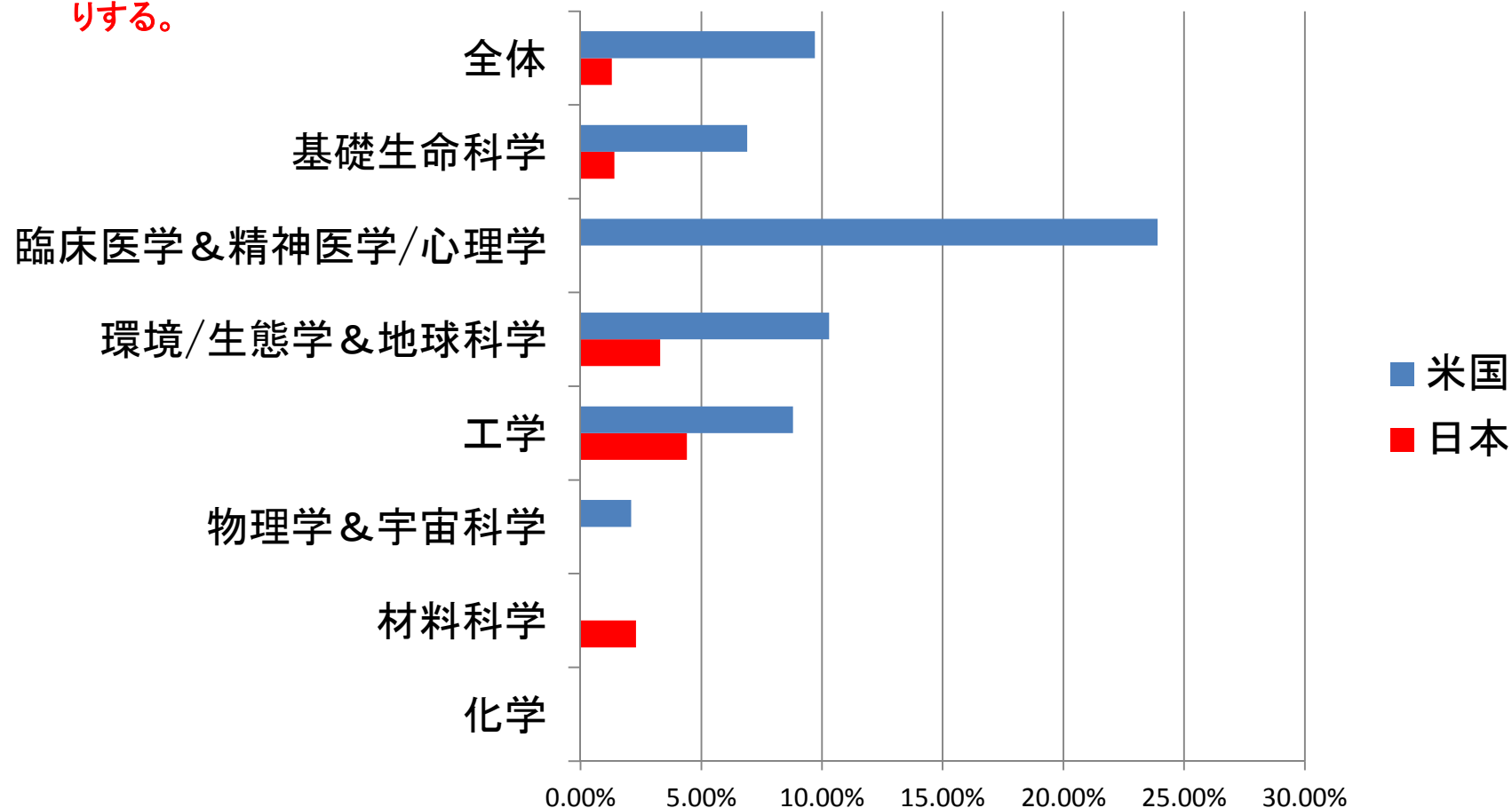


数学イノベーションに必要な人材の育成・活用について(関連データ)

トップ1%論文研究チームへの数学研究者参加割合(日米比較)

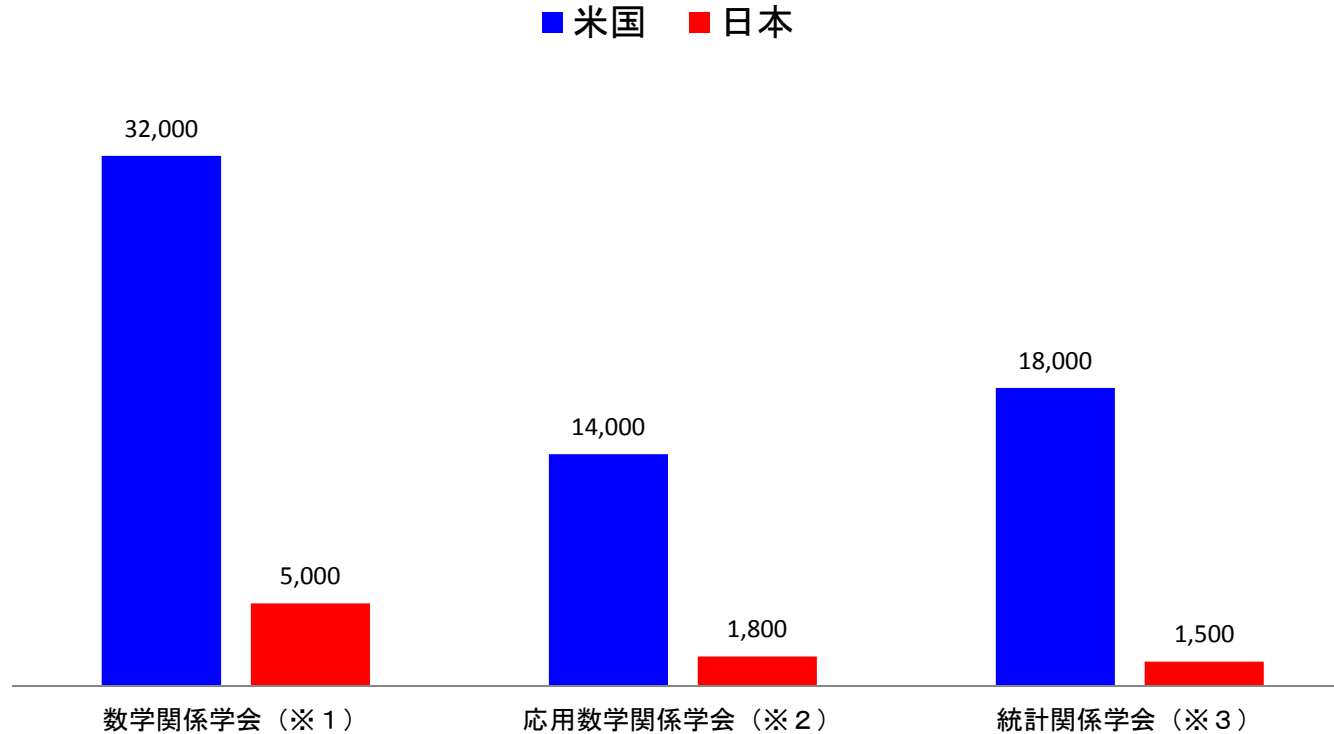
様々な学問分野における2001年～2006年の被引用数上位1%の論文を生み出した研究チームに注目し、そのチームに**数学を専門とする研究者が参加している割合**を、日本と米国とで比較すると、**日本は大きく見劣りする**。



(出典)

Hitotsubashi(一橋大)-NISTEP(科政研)-Georgia Tech(ジョージア工科大)科学者サーベイの結果を用いて、科学技術・学術政策研究所が集計。

数学・数理学関係学会の会員数(日米比較)



(※1)
米国数学会 (AMS)
日本数学会

(※2)
米国産業・応用数学会 (SIAM)
日本応用数理学会

(※3)
米国統計学会 (ASA)
日本統計学会

(注)各学会のWebデータによる

博士課程修了者のキャリアパス

日本の理学系の博士課程修了生の進路は、3分の1が民間企業。

日本の数学専攻博士課程修了生の進路は、企業は少なく、アカデミア中心（非正規雇用の者が多い）。

科学技術政策研究所による理学系博士後期課程修了生の就業状況のアンケート調査(2012年6月)

日本数学会による数学専攻博士後期課程修了生の就業状況のアンケート調査(2014年3月)

【回答数】博士課程修了者を年間50名以上輩出する59大学
 【調査対象】2010年4月から2011年3月までに博士後期課程を修了した者のうち、博士課程在籍中に就職活動の経験がある者：255名（回答があった組織のみ）

【回答数】大学院数学/数理科学関係専攻の52組織
 【調査対象】2013年4月から2014年3月までに博士後期課程を修了した者：140名（回答があった組織のみ）

